

メールコンテンツコントロール

アナリストの見解

メッセージラボは、メールセキュリティに関するマジッククアドラントで「リーダー」クアドラントに位置付けられています。

Gartner 社の定義する「リーダー」とは、現時点で優れた業績を示し、市場の方向性に対する明確なビジョンを持ち、市場でのリーダーシップを維持するためコンピテンシーの開発に積極的に取り組んでいるベンダーを指します。

『Gartner Magic Quadrant for E-mail Security Boundary, 2008』
Arabella Hallawell 氏, Peter Firstbrook 氏, 2008 年 9 月 11 日

メッセージラボのメリット

- 総合的で柔軟性のある、直観的なルール作成プロセスを管理者に提供する、ポリシーベースのコンテンツコントロールサービス。
- わかりやすい管理者インターフェースとセットアップ機能により、複雑性を軽減し必要なリソースを最小化
- 複数のメールコンポーネントおよびサポート対象の Microsoft® Office™ および PDF 添付ファイルに含まれるテキストをスキャン
- 全種類の処理についてルール別に通知を設定可能
- メッセージラボのメール関連サービス（アンチウイルス、アンチスパム、イメージコントロール、ポリシーベースエンクリプション）を補完

マジック・クアドラントは、2008 年 9 月よりガートナーが著作権を有しており、その許諾を得て再掲したものです。マジック・クアドラントは、特定の時点や期間における、特定の市場を図式的に表現したものです。これは、ガートナーの採用した定義に基づいて、当該市場向けの基準に特定のベンダーを当てはめた場合の評価をガートナーが分析したものです。ガートナーは、マジック・クアドラント内に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また「リーダー」クアドラント内に位置付けられたベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。マジック・クアドラントの用途はリサーチツールに限定されており、特定の行為に導く意図を有しておりません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

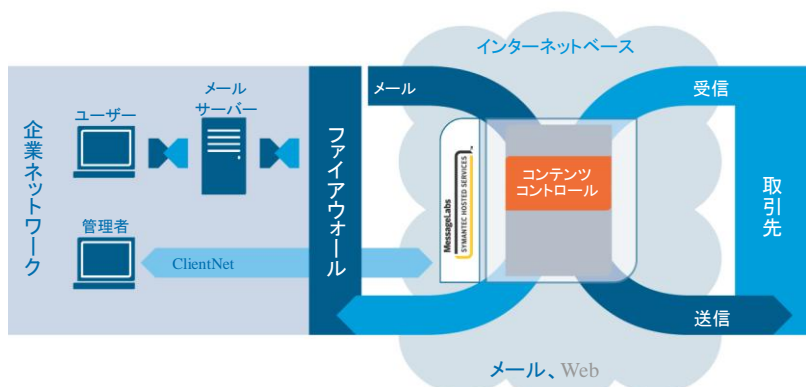
メールコミュニケーションポリシーを実施するには？

メールは今日の企業における主要なコミュニケーション手段であり、ネットワークを出入りするすべてのメッセージのコンテンツを監視することが企業にとって必要不可欠になっています。これを怠ると、機密扱いのデータや、不快または不適切なメッセージ、あるいは時間の浪費にしかならないメッセージによって、メールコミュニケーションが危険化する可能性があります。

この問題は、ブランドや社会的信用の失墜、機密データの流出、従業員の生産性低下といった、深刻な事態を招く危険性をはらんでいます。それだけでなく、従業員保護に関連する規制を順守していないために、メールの悪用によるいじめやセクシャルハラスメントなどの問題が起こった場合、訴訟や罰金などのペナルティを科せられる可能性も出てきます。

メッセージラボのメールコンテンツコントロールサービスは、全社で送受信される機密扱いのデータや、悪質または不適切なメールコンテンツを識別して制御します。セットアップと保守が容易な、費用対効果に優れたホステッドサービスによって、データ流出のリスクが軽減され、利用規約の確立と実施が可能になり、生産性の高い従業員のメール利用が促進されます。

総合的なコンテンツコントロールソリューション



メッセージラボのソリューションは、個々のメールについて送信または受信を許可するかどうかを決定する、広範囲に及ぶ多層的なテクノロジーを利用しています。セットアップと保守が容易で、管理者は豊富な設定、管理、レポート機能を備えた直観的なインターフェースを使用できます。

このサービスは複数のメールコンポーネント（メール本文、件名、ヘッダー）のほか、メールに埋め込まれるか添付された、サポート対象の Microsoft® Office™ ドキュメント（Word、Excel、PowerPoint バージョン 2000 - 2007）および PDF の中のテキストを分析します。管理者が作成したルールに抵触するコンテンツについては、さまざまな処理が行われますが、承認されたメッセージは、本来の受信者に配信されます。

サービスのしくみ

- 送受信メールをメッセージラボに配信し、スキャンを実行
- 管理者が Clientnet インターフェースを使用して企業の利用規約に応じてルールをセットアップ
- ルールに抵触したメールについて、さまざまな処理(遮断して削除、管理者に転送、管理者にコピー送付、ヘッダーにタグ付け、件名にタグ付け、ログ記録のみ、添付ファイルの圧縮)を実行
- ルールに抵触しないメールは、そのまま本来の受信者に配信

サービスレベル保証

メールコンテンツコントロールは、次のパフォーマンスレベルを満たさなかった場合の返金保証を含む、総合的なサービスレベル保証(SLA)によって裏付けられています。

- メール配信 - 100% のメール配信を保証
- 遅延 - メール の平均スキャン時間 60 秒以内
- サービス可用性 - 100% の稼働時間
- テクニカルサポート - クリティカル、メジャー、マイナーコール別に応答時間を保証

お問い合わせ先

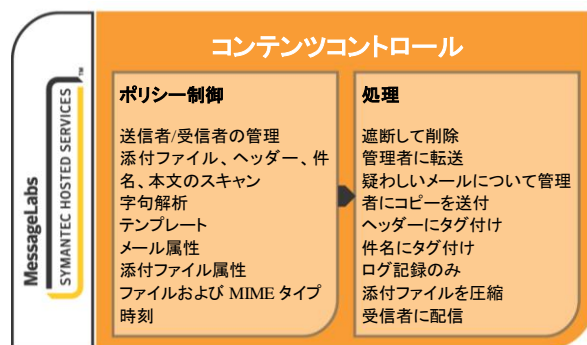
以下にご連絡ください。
 メッセージラボジャパン株式会社
 03-5114-4540
 mlj_mktg@messagelabs.com

データシート、ホワイトペーパー、およびその他のリソースのダウンロード:
www.messagelabs.co.jp/products

メールメッセージおよび添付ファイルのスキャンは、キーワード、語句、URL リスト、または英数字式(クレジットカード番号、国民保険番号、社会保障番号など)について実行することができ、これらはすべて管理者が自由に設定できます。

個人、グループのメンバー、ドメインの集合、または単一のドメインをメールの送信者または受信者として定義し、ユーザー別にルールを適用できます。管理者がセットアップしたルールセットに合わせて、処理の種類別にエンドユーザー向けの通知を設定できます。

メッセージラボのメールコンテンツコントロールサービスを、他のホステッドサービス(アンチウイルス、アンチスパム、イメージコントロール、ポリシーベースエンクリプション)と組み合わせることで、送受信のメールコミュニケーションに関する総合的なセキュリティ、保護、制御が実現できます。



機能	メリット
管理者が定義したポリシーにより、機密扱いのデータや不適切なテキストベースのメールコンテンツを識別して制御	利用規約の実施を支援し、コンプライアンスのニーズに対応するとともに、訴訟、企業の信用失墜、データ流出のリスクを軽減
ルールや処理の種類別に通知を設定できる、総合的で柔軟性のある直観的なルール作成プロセス	企業固有のメールコミュニケーションポリシーを反映し、管理者とユーザーに適切な対処を通知
メールのヘッダー、件名、本文のほか、サポート対象の Microsoft® Office™ ファイル、PDF 添付ファイル、圧縮ファイルタイプをスキャン	メールの全コンポーネントを対象とする総合的な保護を提供し、すべての送受信メッセージの妥当性を保証
語句リストのしきい値	ルールをトリガーすべきキーワードまたは語句の出現回数を管理者が決定可能
非西欧文字のキーワードまたは語句を認識できる、拡張文字リスト認識機能	地域、文化、言語的な背景を問わず、不適切なメールコンテンツをスキャン可能
ダッシュボード、概略、詳細な定期レポート機能	可視性と説明責任が確保され、サービスの有効性を確認



つながる世界。つなげる安心。